

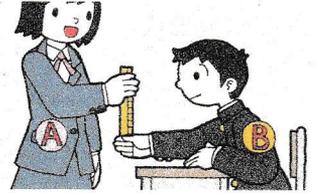
意識して起こす反応

刺激を受けてから反応が起こるまでの経路



実験1 落下するものさしをつかむ反応を調べる.

① 2人1組になり、片方の人①がものさしの上部を持つ。もう片方の人②は、ものさしの0の目盛りの位置に指をそえる。



② ①がものさしを離し、②はものさしが落ちるのを見たらすぐにつかむ。



結果は下のとおり。

ものさしをつかんだ位置の目盛りを言売んで、下の表から①がものさしを離してから②がつかむまでに要した時間を求める。

▼ものさしが落ちる距離とそれにかかる時間

ものさしが落ちる距離 [cm]	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30
ものさしが落ちるのにかかる時間 [秒]	0.14	0.16	0.17	0.18	0.19	0.20	0.21	0.22	0.23	0.24	0.25

ものさしが 20 cm 落ちたところでつかめたとき、ものさしが落ちるのを見てからつかむまでに (0.20) 秒かかった。

まとめ

感覚器官である (目) が受けとった (光) の刺激が (感覚(視) 神経) を通って (脳) に伝えられ、そこから出された命令が (せきずい) を通って (運動) 神経に伝えられ、(運動) 器官である (手) の筋肉に伝えられて執った。